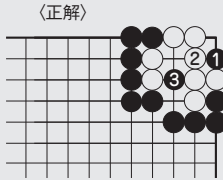
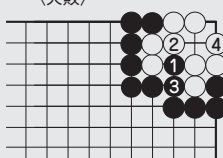


**詰碁解答** (問題は73頁)

〈正解〉  

 黒1のオキが急所。白2なら黒3まで。

〈失敗〉  

 黒1のアテでは白4まで、簡単に生きられてしまいます。

**詰将棋解答** (問題は73頁)

〈正解〉  
 ♠3三金△3一玉▲4二金△2二玉♠3三角成△同玉▲4三角成△2三玉♠3二馬までの九手詰め。

〈解説〉  
 ♠3三金から▲4二金と凡々と迫るのがかえって気付きにくいかも。次の♠3三角成が決め手。△同玉と取らせ▲4三角成と活用すれば詰み上がり。

一般社団法人  
 全日本建設技術協会  
 令和3年度理事・監事等構成

会 長 大石 久和

副 会 長 後藤 敏行  
 小川 富由  
 小原 恒平  
 神山 守

理 事 西植 博  
 安田 吾郎  
 藤井 元生  
 高吉 晋吾  
 小林 秀晃  
 永澤 親兼  
 金子 勉  
 細島 譲  
 牧野 裕之  
 棚橋 元  
 津坂 英司  
 西出 俊亮  
 有路 稔  
 木村 圭策  
 植村 公彦  
 野田 主馬

専務理事 泊 宏

常務理事 西成 秀幸

監 事 加藤 利弘  
 花井 徹夫

## 編集後記

本誌では、2月号から「公務員技術者の訴訟リスク～事例と解説～」を連載しています。読者の皆様から頂いた御意見は本誌「会員だより」のコーナーに掲載していますが、それ以外にも、これまでに多くの感想・意見等をお寄せいただいております。訴訟リスクに対して会員の関心が高いことに改めて驚いています。

中には「訴訟にならないためにはどうすればよいか教えてほしい」という要望もあります。結論から申し上げますと、訴訟に対するリスクを「ゼロ」にすることは不可能だと思いますが、リスクを「軽減する」、リスクに「備える」ことは可能です。これらについては、今後の連載で触れていきたいと考えていますが、一例を挙げると、ミスへの感度を高めることが重要です。

設計ミス、積算ミス、手続きミスが訴訟の引き金となる場合があります。地方整備局や都道府県では、「失敗事例集」を独自に作成し、冊子化したりイントラに掲示したりしているところがあります。また、先輩職員の経験を学ぶ意見交換会や講演会を実施しているところもあります（例えば、本誌「学ぶ・つなぐ・広げる」2月号49～51ページ、6月号40～42ページ）。

しかし、現状において、有益な情報を常に得られる環境にない読者も多いことと思います。本誌では「会計検査の指摘事例とその解説」「災害査定上の留意点」「事例から学ぶ現場力の向上」「後輩技術者に向けたメッセージ」などを連載しています。

このような連載から、過去の事例やその分析、先輩方の貴重な経験やそれに基づく教訓に関して定期的、継続的に情報を得て、自分自身の頭の中に蓄積していき、ミスに対する感度を持続し、高めていくことは、公務を的確に遂行する上で有効であるとともに、訴訟に対するリスクを軽減していくことにつながります。

インフラの整備・管理を通じて社会に貢献する全国の公務員技術者の皆様のお役に立てるよう、全建本部では、訴訟へのリスクを「軽減する」、リスクに「備える」ための取組をはじめ、様々な活動を進めてまいります。  
 (本部事務局)

### 月刊「建設」編集委員

委員長 杉中 洋一

委 員 藤井 佳人

委 員 山本 洸太

副委員長 野坂 周子

増田 達

中村 允宣

菅原 寛明

里内 俊介

秋山 秀樹

高原 洋介

大利 泰文

南 彩

大坪 祐紀

板倉 舞

小林 大助

米村 享紘

松井 大生

吉川 昌孝

松岡 佳秀

道谷 健太郎

永野 収

伊藤 直樹

猿澤 宗一郎

桑嶋 健

石川 勝浩

三輪 晴文

(令和3年7月1日現在)

広告掲載に関するお問合せ先  
 一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 機関誌編集担当  
 TEL 03 (3585) 4546・FAX 03 (3586) 6640 E-mail: kensetsu@zenken.com

※本誌の内容の全部または一部について、法律で認められた場合を除き、無断で転載・複写等することを禁じます。

第65巻 第7号

発行 一般社団法人 全日本建設技術協会

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7階

TEL: 03 (3585) 4546 FAX: 03 (3586) 6640

URL: <http://www.zenken.com/>

印刷 大盛印刷株式会社 TEL: 03 (3971) 1246

(発行数60,000部)